-今月の投書―

第 11

会

ベビーカーを否定する会社員



て 皆さんが社会に無関心にな [来事で放置できないのが「ベ しかし最近目に付く非常識 くのは十分に分かって 力 を否定する会社員」で いま 9

りの 先日、 Ш 手線品 事に向かうため最寄 濵 駅の ホー ・ムで電



ビ 雑していました。 たところで、 ŋ 若 λ と段落したとは せ 惑そうな顔をした会社員が数 ぺ ベビー 1 0) 1 ました。 込もうとしたところ、 1 ٨ e V ズに乗車出来る状況です。 数 母 スを空けるつもりは カ 時間は朝 歩移動してあげれば、 親 1 が、 カー は もちろん、 何の問題もなくス 通勤 到着した電車に に子どもを乗せ 9 (V ラッ え、 人一 時半を過ぎ シュ 自 車 人が 分の 内は さも ありま は 混 S ス 乗 ベ ほ

> 移動 よっ

が制限されることにスト

て通路

が狭

くなり、 1

通行

や

す。

混雑時のベビ

力

・利用に

す 数

失への懸念があると考えられ

ま

スを感じる人が少なくありませ

出

ん。

0) く人がい 利用に対 での不安や焦り、 心理的背景には、 公共交通機関でのべ ることは事実です。 Ĺ 否定的な感情を 混雑し 利便性の ビー た カ 喪 空 抱

但先度=

車を待ってい た時のことです。

共働き等世帯数の年次推移



80-2001年は総務省総計局「労働力調査判別調査」、2002年に周は総務省総計局「労働力調査 (同総集計) (年午均) 「別性環形者と無象の意からなる利息」とは、2017年までは、大党海路林業業者をで、着労弊政策者(体労働力 人に及び完全失業能 の苦寒。2018年は別は、信業状態の分類区分の変更に作り、大が非義林業業用者で、選が 可収集者(保労権力人に及び失業者)の想象。 「雇用者の汎動さ世帯」とは、夫婦とちに非義林業業用者の思称。 2010年及び2011年の(「内の失戦は、翌千年、西域別及び重信席を除く全国の結果。 行効金力調査所開業」と「労働力調査・研修集計」とでは、調査方法、調査内はどが初選することから、終系 形態的には注意を表する。

出典:厚生労働省

向にあります。 利用者の約20倍と年々 は 全乗降客の 1 $\frac{9}{2}$

増

加 車

傾 11

%

がる 優 %の減少、 生数は23年では73万人と約38 ح 年 00年には119万人であっ ょ しくしても 0 0) う 方。 1 か。 13 もう少しベビー ポイントの低下と下 33から23年には 合計特殊出生率も Ł っと子どもを育 e V いのではない カー 1

20 00 6

婦二人 機関におけるベビーカー 土交通省の調査では、 する機会も増えるでしょう。 前。 います。 が共働きとの結果が報告され 働省白書では 1247 L 当然、 か で育児をするの 子どもを授かれば、 2 公共交通機関を利 $\bar{0}$ $\frac{1}{2}$ 年 公共交通 が当たり 万の世帯 0 -の乗車 厚生 玉 夫 用 て

参照

https://www.mlit.go.jp/common/001014270.pdf https://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/kousei/21/dl/2-01.pdf

ないですか

大きなリュ

ッ

クの方が迷惑では

やす

い世の

中

にしませんか。 に背負った黒い

あ

なたが背

中